

# 1. VPN で社外からアクセス運用する設定

サーバー（ライセンス、図面ファイル、電キャビ等）へ VPN を通じて社外から社内へ接続を行い、ACAD-DENKI を利用する設定を記載します。

尚、本手順は BricsCAD をベース CAD と使用する前提で記載しております。

AutoCAD をご利用の場合は、インストール方法、ライセンス設定等、Autodesk 社のホームページをご確認ください。

## 1.1. インストール

利用するクライアント端末に新規で ACAD-DENKI をインストールする手順を記載します。  
既にインストール済の場合、この手順は不要です。

### 1.1.1. BricsCAD のインストール

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のインストールを実施します。

[https://www.bj-soft.jp/support/install/install\\_new1.html](https://www.bj-soft.jp/support/install/install_new1.html)

### 1.1.2. ACAD-DENKI のインストール

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のインストールを実施します。

[https://www.alfatech.jp/support/install/install\\_new.html](https://www.alfatech.jp/support/install/install_new.html)

## 1.2. ライセンス

利用するクライアント端末の BricsCAD、ACAD-DENKI のライセンス設定手順を記載します。  
スタンドアロンライセンスで既にライセンスアクティベート済の場合、この手順は不要です。

### 1.2.1. BricsCAD のライセンス

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のライセンスアクティベートを実施します。

<https://www.bj-soft.jp/support/activate/telework.html>

### 1.2.2. ACAD-DENKI のライセンス

#### 【スタンドアロンライセンス】

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のライセンスアクティベートを実施します。

[https://www.alfatech.jp/support/install/license\\_settings.html](https://www.alfatech.jp/support/install/license_settings.html)

#### 【ネットワークライセンス】

ネットワークライセンスの場合、サーバーからライセンスを借用し、使用します。

ライセンス借用・返却オプションツールがインストールされていない場合、

クライアント用インストーラーからインストールする必要があります。

[ライセンス借用・返却オプションのインストール]

1. クライアント用インストールメディア内の Setup.exe を実行します。

インストールメディアがお手元にない場合は、下記 URL の《クライアント PC 用インストーラ》をダウンロードしてください。

<https://www.alfatech.jp/support/Delivery/>

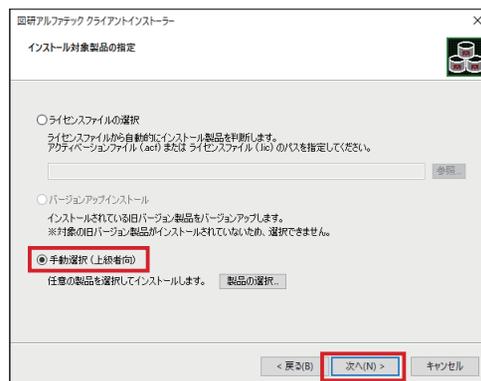
2. インストールウィザードが表示されます。  
"次へ" をクリックします。



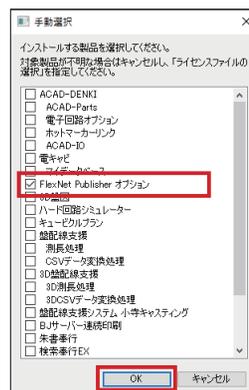
3. 《同意する》にチェックをいれ、"次へ" をクリックします。



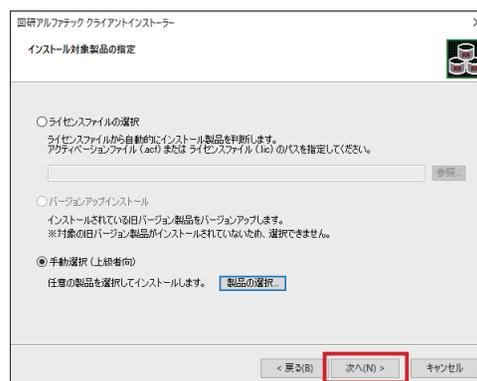
4. 《手動選択 (上級者向)》にチェックを入れ、  
"製品の選択" をクリックします。



5. 《FlexNet Publisher オプション》にチェックを入れ、  
"OK" をクリックします。



6. インストールウィザードが表示されます。  
"次へ" をクリックします。



7. 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。

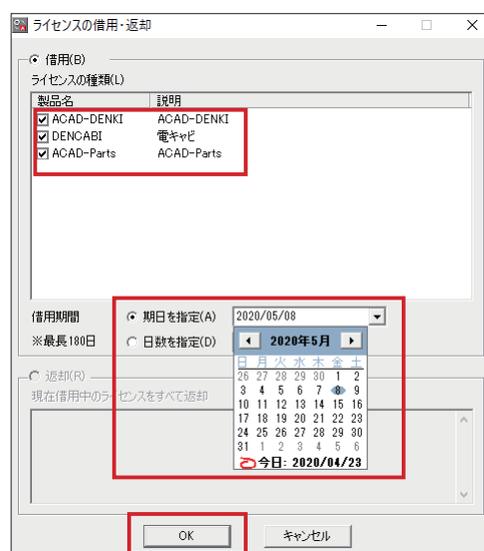


8. インストール完了です。  
"完了" をクリックします。

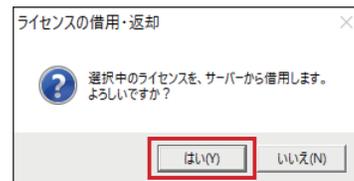


#### [ ライセンスの借用 ]

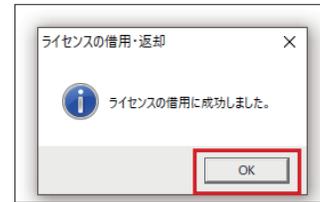
1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却]  
をクリックします。
3. ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。  
借用する製品名にチェックを入力し、借用期間として「期日を指定」、「日数を指定」のいずれかを選択、  
設定します。
4. "OK" をクリックします。



5. 確認のダイアログが表示されます。  
"はい" をクリックします。



6. 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。



### [ライセンスの返却]

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-[アルファ テックランチャー] をクリックします。

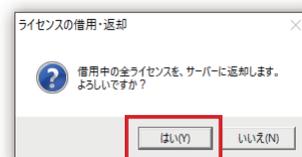
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却] をクリックします。

3. ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。  
ダイアログ下部の "返却" にて借用期間を確認することができます。

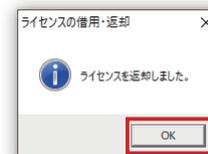
4. 返却する場合、"OK" をクリックします。



5. 確認ダイアログが表示されます。  
"はい" をクリックします。



6. 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。



※借用期間満了するまで使用する場合は、返却処理は必要ありません。

[借用機能を使用せず、社外から VPN で社内ライセンスサーバーにアクセスする場合]

**ネットワークライセンス管理において、VPN 環境はサポートしておらず、利用は推奨していません。**

サポート対象外ではございますが、VPN 環境でネットワークライセンス管理を行う場合はライセンス管理サーバー PC とクライアント PC 間では TCP/IP 通信が問題なく行える環境であれば使用可能かと思えます。

※レスポンスが低下する可能性がございます事予めご了承ください。

VPN 接続を行う環境では、ライセンスサーバを検索する際、通常より時間を要します。

タイムアウトが発生してライセンスを取得できず、ACAD-DENKI を起動することができない場合があります。

この場合は、システム変数「FLEXLM\_TIMEOUT」を作成して値を大きく設定し、タイムアウトの発生を回避するようにして下さい。

#### 【操作方法】

1. スタートメニューよりコントロールパネルを開き、  
[システムとセキュリティ]-[システム][システムの詳細設定]をクリックします。  
システムのプロパティダイアログが表示されます。
2. ダイアログ内 [詳細設定] タブをクリックし、[環境変数] ボタンをクリックします。  
環境変数ダイアログが表示されます。
- 3.[環境変数] ダイアログボックス下側、「システム環境変数」の項目にある [新規] ボタンをクリックします。
4. 変数名に「FLEXLM\_TIMEOUT」と入力し、変数値に例として「1000000」と入力します。  
※単位はマイクロ秒となっております。例：1000000 = 10 秒
- 5.[OK] ボタンをクリックし、すべてのダイアログを閉じます。

また、VPN でライセンスサーバーに接続するにあたり、VPN ルータ側でポート番号の開放が必要となります。

使用しているライセンスファイルの記述内容を確認し、右図のポート番号 (TCP) へアクセスを許可するよう設定してください。

1 行目末尾に右図のような数字がない場合、  
ポート番号：27000~27009 を許可してください。  
※ライセンスマネージャーがデフォルトで使用する  
ポート番号は 27000 ~ 27009 のいずれかとなります。



```
ACAD-DENKI2020B10D10P10.lic - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
SERVER SAMPLE_SERVER abcdefabcdef 27100
USE_SERVER
VENDOR alfa flex port 59684
FEATURE ACADDENKI alfa flex 21.0 permanent 10 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2020 BORROW=4320 S
CB2D 5CC3 5882 AFFC 110A 258F 6645 285A 7000 0B
2A2C 9617 43E7 0AB8 FBDD ABA9 3A12
FEATURE ACADDENKI alfa flex 21.0 permanent 10 ¥
```

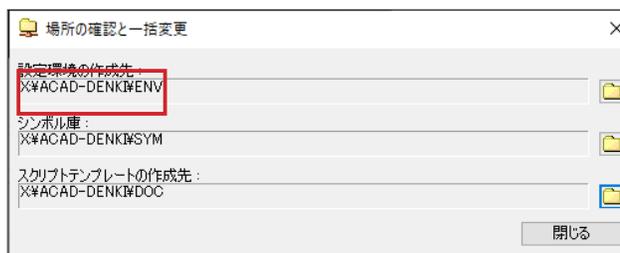
上記設定をしてもうまくいかない場合、  
ライセンス借用機能を用いて運用していただくよう  
お願いいたします。

## 1.3. 環境ファイル

環境参照先がサーバー名で接続されている場合、IP アドレスで参照するように変更します。

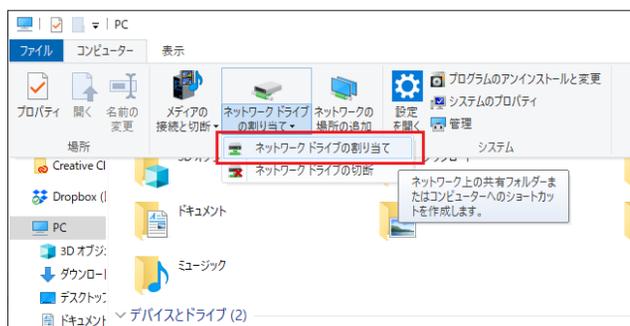
### 1.3.1. 環境ファイルの参照パス確認

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]  
を起動します。
3. 環境の参照パスが表示されます。  
使用しているネットワークドライブ名を確認しま  
す。(右図例: [X])

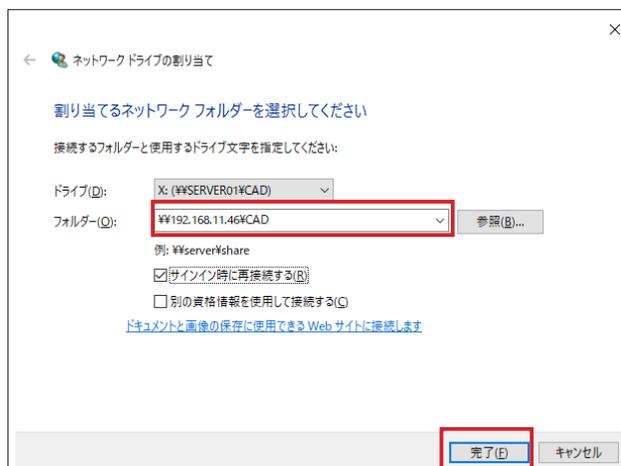


### 1.3.2. ネットワークドライブ割り当て変更

1. Windows エクスプローラを表示し、[PC] を開きま  
す。
2. "コンピューター" タブより [ネットワークドライ  
ブの割り当て] を選択します。



3. 上記で確認したドライブ名を確認し、サーバー名で  
参照設定されている場合はサーバーの IP アドレス  
に参照パスを変更し、"完了" を選択します。  
(設定例)  
ドライブ名: X  
サーバー名: SERVER01  
IP アドレス: 192.168.11.46



## 1.4. 電キャビ・部品マスタ

電キャビ、部品マスタについて VPN でサーバを参照する際、  
サーバー名で接続設定している場合は IP アドレスで参照するよう変更が必要となります。

### 1.4.1. ポートの解放

1.VPN でデータベースに接続するにあたり、  
VPN ルータ側でポート番号の開放が必要です。  
ポート番号 1433(TCP) へのアクセスを許可するよう設定してください。

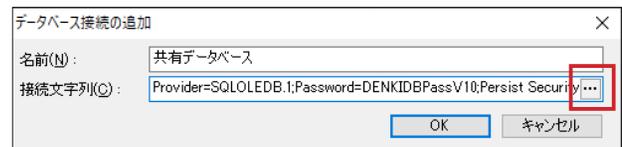
### 1.4.2. 電キャビ接続設定

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[接続設定]  
を起動します。
3. 電キャビデータベース接続設定が起動します。  
一覧から項目を選択し、"編集" をクリックします。

※一覧に何も項目が無い場合、サーバーを使用していないため、以降の電キャビ接続設定は不要です。

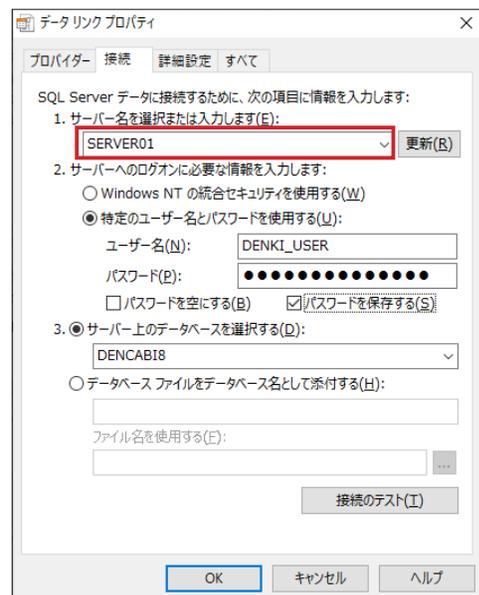


4. 接続文字列右端の [...] をクリックします。



5. 接続タブよりサーバー名か IP アドレスかを確認します。

※ IP アドレスで設定されている場合、以降の設定は不要です。



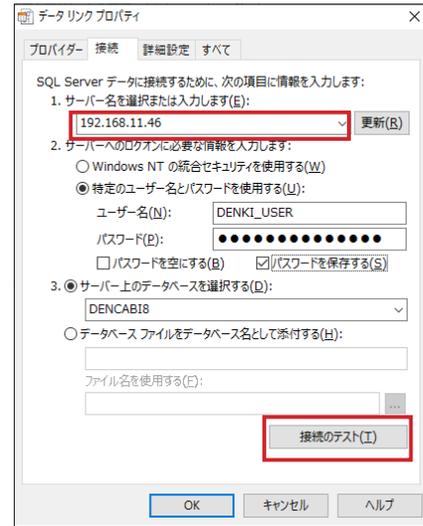
6. サーバー名だった場合、IP アドレスに変更し、  
"接続テスト" をクリックします。

右図は下記例での設定となります。

(設定例)

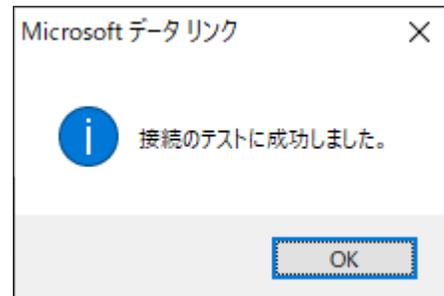
サーバー名：SERVER01

IP アドレス：192.168.11.46



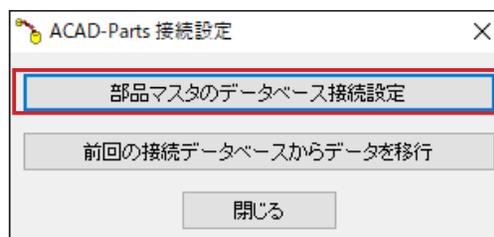
7. 接続テスト実行時に《接続のテストに成功しました。》と表示されればサーバーへのアクセスができています。

「データリンクプロパティ」、「データベース接続の追加」、「電キャビデータベース接続設定」ダイアログで "OK" をクリックして設定完了します。



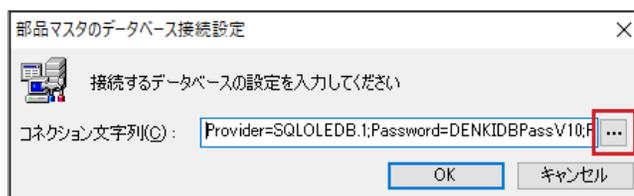
### 1.4.3. 部品マスタ接続設定

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[接続設定]  
を起動します。
3. ACAD-Parts 接続設定が表示されます。  
"部品マスタのデータベース接続設定" をクリック  
します。



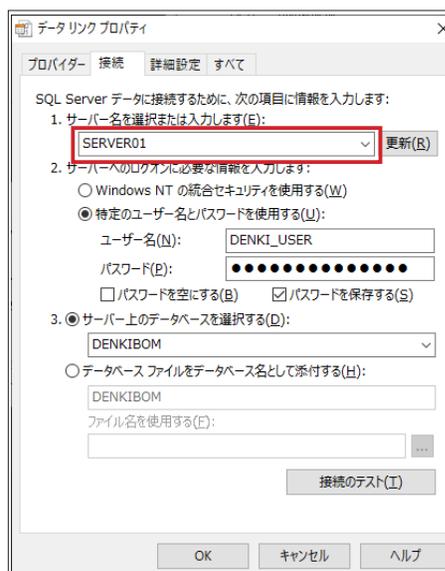
4. コネクション文字列右端の [...] をクリックします。

※コネクション文字列が空欄だった場合、サーバーを参照していないため以降の設定は不要です。



5. 接続タブよりサーバー名か IP アドレスかを確認し  
ます。

※ IP アドレスで設定されている場合、以降の設定は不要です。



6. サーバー名だった場合、IP アドレスに変更し、  
" 接続テスト " をクリックします。  
右図は下記例での設定となります。  
( 設定例 )  
サーバー名 : SERVER01  
IP アドレス : 192.168.11.46

データリンクプロパティ

プロバイダー: 接続 詳細設定 すべて

SQL Server データに接続するために、次の項目に情報を入力します:

1. サーバー名を選択または入力します(E):  
192.168.11.46 更新(B)
2. サーバーへのログインに必要な情報を入力します:  
 Windows NT の統合セキュリティを使用する(W)  
 特定のユーザー名とパスワードを使用する(U):  
ユーザー名(N): DENKI\_USER  
パスワード(P): ●●●●●●●●●●  
 パスワードを空にする(B)  パスワードを保存する(S)
3.  サーバー上のデータベースを選択する(D):  
DENKIBOM  
 データベース ファイルをデータベース名として添付する(H):  
DENKIBOM  
ファイル名を使用する(F):  
.....

接続のテスト(I)

OK キャンセル ヘルプ

7. 接続テスト実行時に《接続のテストに成功しました。》と表示されればサーバーへのアクセスができています。  
「データリンクプロパティ」、「部品マスタのデータベース接続設定」、「ACAD-Parts 接続設定」ダイアログで [OK] をクリックして設定完了します。

